

2026年4月～6月期中小企業景況調査結果

中小企業の景況感、低下

-業況判断、売上及び採算の各D.I.で前期実績を下回る-

◇調査結果の概要

今期は、業況判断、売上、採算の各D.I.で前期実績を下回った。
来期は、業況判断、売上、採算の各D.I.で今期実績を下回る見通し（全産業平均）。

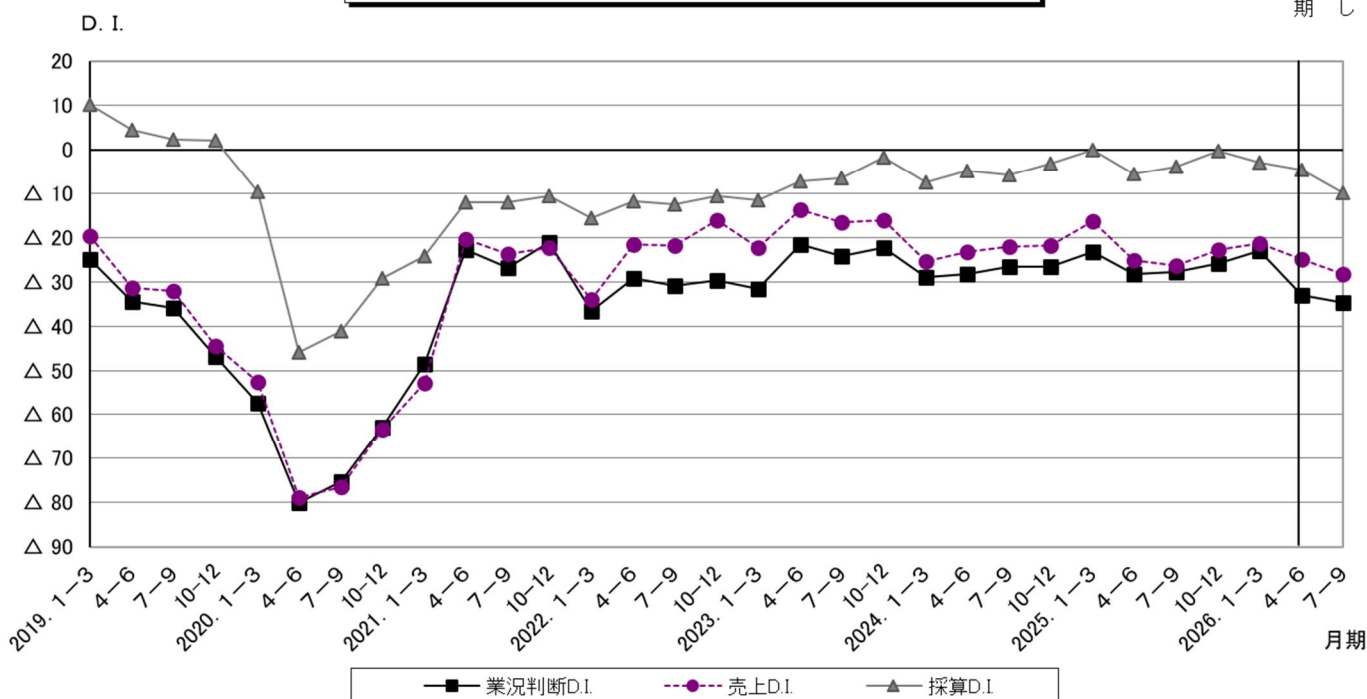
指標別の状況（全産業平均）

- 業況判断 D.I.は、前期実績 $\Delta 22.8$ から $\Delta 33.0$ (10.2ポイント減)となり、来期は $\Delta 34.8$ (1.8ポイント減)となる見通し。
- 売上 D.I.は、前期実績 $\Delta 21.0$ から $\Delta 24.9$ (3.9ポイント減)となり、来期は $\Delta 28.3$ (3.4ポイント減)となる見通し。
- 採算 D.I.は、前期実績 $\Delta 3.2$ から $\Delta 4.6$ (1.4ポイント減)となり、来期は $\Delta 9.8$ (5.2ポイント減)となる見通し。

産業別の状況

- 製造業では、業況判断、売上、採算の各D.I.で前期実績を下回った。
- 卸・小売業では、売上、採算の各D.I.で前期実績を上回り、業況判断D.I.で前期実績を下回った。
- 建設業では、業況判断、売上、採算の各D.I.で前期実績を下回った。
- サービス業では、業況判断、売上、採算の各D.I.で前期実績を上回った。

業況判断・売上・採算D.I.の推移(全産業平均)



調査時期:2026年6月1日から6月10日まで
調査対象:中小企業2,000社(回答社数1,031社 回答率51.6%)

業況判断D. I. の推移

業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)	2026年7-9月期 (来期)
全産業	△ 28.2 (△ 21.8)	△ 27.7 (△ 27.8)	△ 25.9 (△ 27.5)	△ 22.8 (△ 25.5)	➡ △ 33.0 (△22.4)	➡ △ 34.8
製造業	△ 26.1 (△ 19.8)	△ 26.9 (△ 25.9)	△ 24.3 (△ 25.8)	△ 21.3 (△ 25.2)	➡ △ 36.2 (△21.5)	↗ △ 34.6
卸・小売業	△ 39.5 (△ 31.3)	△ 39.1 (△ 36.8)	△ 40.1 (△ 37.8)	△ 32.1 (△ 32.4)	➡ △ 34.1 (△26.1)	➡ △ 40.3
建設業	△ 20.3 (△ 23.1)	△ 13.3 (△ 20.3)	△ 12.3 (△ 20.0)	△ 13.6 (△ 21.5)	➡ △ 31.9 (△16.9)	➡ △ 33.3
サービス業	△ 18.3 (△ 10.6)	△ 13.9 (△ 22.1)	△ 9.7 (△ 17.8)	△ 13.7 (△ 12.6)	↗ △ 11.3 (△22.1)	➡ △ 21.9

() 内は1期前における当期見通し

売上D. I. の推移

業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)	2026年7-9月期 (来期)
全産業	△ 25.2 (△ 17.5)	△ 26.3 (△ 23.9)	△ 22.7 (△ 23.2)	△ 21.0 (△ 23.6)	➡ △ 24.9 (△ 18.8)	➡ △ 28.3
製造業	△ 25.3 (△ 16.9)	△ 26.3 (△ 22.9)	△ 22.0 (△ 22.5)	△ 21.7 (△ 23.6)	➡ △ 28.1 (△ 19.0)	↗ △ 28.0
卸・小売業	△ 30.3 (△ 22.6)	△ 33.3 (△ 30.7)	△ 32.2 (△ 31.7)	△ 23.3 (△ 29.6)	↗ △ 21.7 (△ 20.4)	➡ △ 33.6
建設業	△ 25.0 (△ 19.2)	△ 18.3 (△ 17.2)	△ 10.8 (△ 18.3)	△ 13.6 (△ 16.9)	➡ △ 27.5 (△ 11.9)	↗ △ 21.7
サービス業	△ 12.5 (△ 7.4)	△ 13.9 (△ 18.3)	△ 10.7 (△ 9.9)	△ 15.8 (△ 12.6)	↗ △ 11.3 (△ 17.9)	➡ △ 20.8

() 内は1期前における当期見通し

採算D. I. の推移

業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)	2026年7-9月期 (来期)
全産業	△ 5.6 (0.0)	△ 3.8 (△ 5.6)	△ 0.3 (△ 4.5)	△ 3.2 (△ 2.7)	➡ △ 4.6 (△ 2.4)	➡ △ 9.8
製造業	△ 6.7 (△ 0.7)	△ 3.9 (△ 8.5)	0.0 (△ 5.9)	△ 4.5 (△ 4.7)	➡ △ 9.4 (△ 3.2)	➡ △ 12.3
卸・小売業	△ 8.4 (△ 5.2)	△ 9.2 (△ 6.9)	△ 6.2 (△ 10.0)	△ 4.1 (△ 7.0)	↗ 0.8 (△ 2.9)	➡ △ 10.4
建設業	15.6 (11.5)	△ 1.7 (18.8)	20.0 (8.3)	16.9 (15.4)	➡ 2.9 (3.4)	➡ 1.4
サービス業	△ 3.8 (10.8)	9.0 (2.0)	0.0 (11.1)	△ 5.3 (8.7)	↗ 6.2 (0.0)	➡ 0.0

() 内は1期前における当期見通し

設備投資実施率の推移

業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)	2026年7-9月期 (来期)
全産業	24.8% (27.4%)	25.1% (26.1%)	27.2% (26.2%)	25.7% (25.5%)	➡ 24.3% (26.1%)	➡ 21.3%
製造業	26.8% (30.1%)	28.3% (28.9%)	30.1% (30.3%)	28.9% (28.9%)	➡ 28.5% (30.9%)	➡ 24.6%
卸・小売業	16.9% (20.9%)	16.9% (18.4%)	19.9% (16.7%)	18.4% (18.5%)	➡ 17.1% (15.9%)	➡ 14.7%
建設業	31.3% (23.1%)	30.5% (26.6%)	30.8% (23.7%)	29.3% (21.5%)	➡ 24.6% (20.7%)	➡ 17.4%
サービス業	28.2% (28.3%)	21.8% (26.7%)	25.2% (23.5%)	22.1% (24.5%)	➡ 16.0% (25.3%)	↗ 20.8%

() 内は1期前における当期見通し

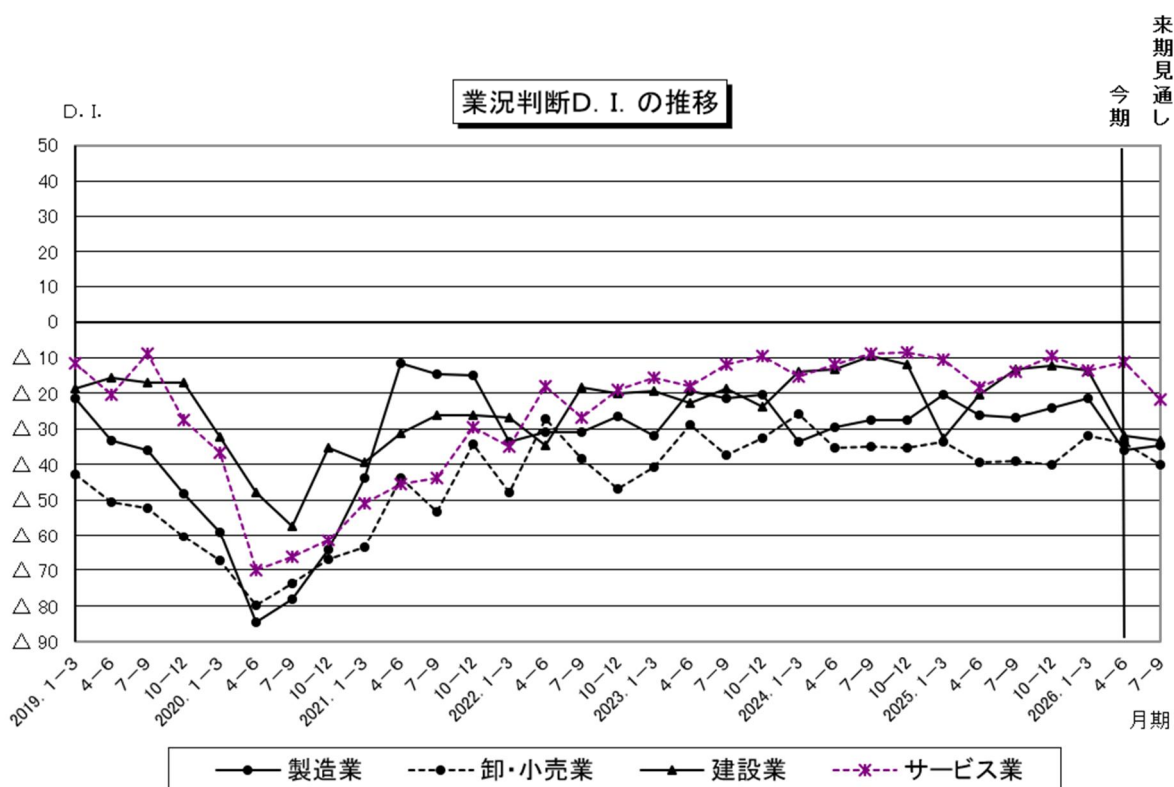
今期（2026年4月～6月期）の実績

1 業況判断D. I.

業種	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(今期)	2026 7-9(来期)
全産業	△ 28.2	△ 27.7	△ 25.9	△ 22.8	↘ △ 33.0	↘ △ 34.8
製造業	△ 26.1	△ 26.9	△ 24.3	△ 21.3	↘ △ 36.2	↗ △ 34.6
食料品	8.3	△ 7.0	11.5	△ 3.7	↘ △ 25.0	↘ △ 45.8
繊維工業	△ 32.8	△ 37.7	△ 44.4	△ 43.1	↘ △ 43.5	↘ △ 50.0
木材・木製品	△ 28.6	△ 25.6	△ 33.3	△ 27.3	↘ △ 50.0	↘ △ 55.9
家具・装備品	△ 50.0	△ 27.3	△ 60.0	△ 50.0	↗ △ 41.7	↘ △ 58.3
紙・加工品	△ 35.3	△ 26.7	△ 13.8	△ 15.4	↘ △ 21.4	↗ △ 17.9
印刷	△ 47.8	△ 52.2	△ 46.2	△ 23.8	↘ △ 60.0	↘ △ 69.2
化学・ゴム	△ 13.6	△ 21.3	△ 14.3	△ 17.0	↘ △ 22.5	↘ △ 37.5
窯業・土石	△ 29.4	△ 26.0	△ 28.3	△ 34.9	↘ △ 48.9	↗ △ 31.1
鉄鋼・非鉄	△ 37.1	△ 56.8	△ 31.7	△ 35.5	↘ △ 53.3	↗ △ 50.0
金属製品	△ 37.8	△ 28.9	△ 23.7	△ 22.8	↘ △ 31.9	↗ △ 30.1
一般・精密機器	△ 18.4	△ 19.2	△ 24.0	△ 10.6	↘ △ 26.9	↗ △ 19.2
電気機器	△ 36.6	△ 35.7	△ 35.0	△ 31.6	↗ △ 30.8	↗ △ 7.7
輸送機器	△ 14.3	△ 11.7	△ 13.0	2.9	↘ △ 33.8	↗ △ 18.8
卸・小売業	△ 39.5	△ 39.1	△ 40.1	△ 32.1	↘ △ 34.1	↘ △ 40.3
卸売業	△ 32.9	△ 38.5	△ 30.2	△ 23.4	↘ △ 26.9	↘ △ 35.6
小売業	△ 48.2	△ 40.0	△ 53.7	△ 44.6	↗ △ 41.8	↘ △ 45.5
建設業	△ 20.3	△ 13.3	△ 12.3	△ 13.6	↘ △ 31.9	↘ △ 33.3
建築業	△ 39.5	△ 22.2	△ 8.3	△ 21.2	↘ △ 39.5	↘ △ 41.9
土木業	7.7	0.0	△ 17.2	△ 3.8	↘ △ 19.2	↘ △ 19.2
サービス業	△ 18.3	△ 13.9	△ 9.7	△ 13.7	↗ △ 11.3	↘ △ 21.9
物品賃貸業	△ 23.8	△ 14.3	△ 10.8	△ 12.1	↘ △ 16.1	↘ △ 29.0
情報サービス業	△ 15.4	△ 20.0	△ 13.0	△ 12.0	↗ △ 9.8	↘ △ 22.0
広告業	△ 10.0	18.2	8.3	△ 25.0	↗ △ 7.1	↘ △ 14.3

※ 業況判断D. I. は、前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

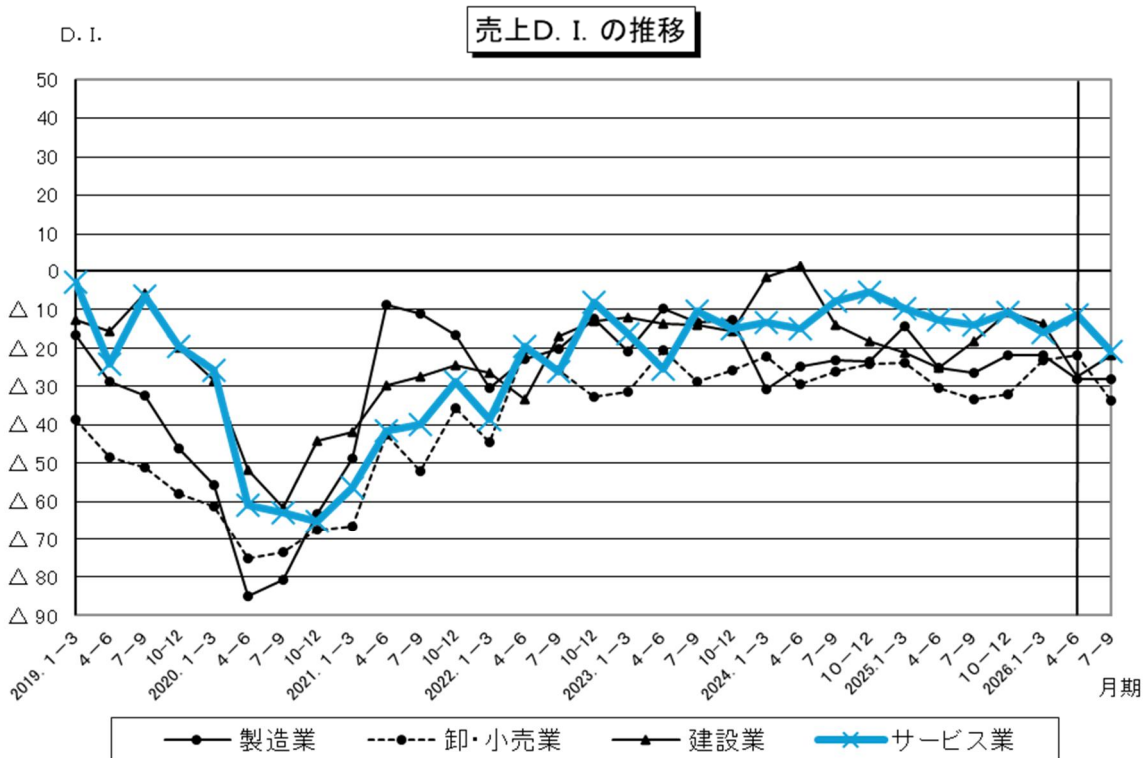


2 売上D. I.

業種	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(今期)	2026 7-9(来期)
全産業	△ 25.2	△ 26.3	△ 22.7	△ 21.0	↘ △ 24.9	↘ △ 28.3
製造業	△ 25.3	△ 26.3	△ 22.0	△ 21.7	↘ △ 28.1	↗ △ 28.0
食料品	8.3	△ 8.8	7.7	△ 3.7	↘ △ 10.4	↘ △ 29.2
繊維工業	△ 35.8	△ 39.1	△ 41.3	△ 41.4	↘ △ 43.5	↘ △ 45.7
木材・木製品	△ 28.6	△ 23.1	△ 33.3	△ 30.3	↘ △ 35.3	↘ △ 70.6
家具・装備品	△ 41.7	△ 27.3	△ 60.0	△ 50.0	↗ △ 25.0	↘ △ 41.7
紙・加工品	△ 32.4	△ 23.3	△ 6.9	△ 11.5	↗ 7.1	↘ 0.0
印刷	△ 34.8	△ 52.2	△ 42.3	△ 23.8	↘ △ 53.8	↘ △ 61.5
化学・ゴム	△ 16.9	△ 12.8	△ 7.1	△ 10.6	↗ △ 7.5	↘ △ 22.5
窯業・土石	△ 25.5	△ 24.0	△ 21.7	△ 32.6	↘ △ 37.8	↗ △ 13.3
鉄鋼・非鉄	△ 37.1	△ 54.1	△ 39.0	△ 41.9	↗ △ 36.7	↘ △ 43.3
金属製品	△ 39.3	△ 30.5	△ 23.7	△ 22.8	↘ △ 27.4	↗ △ 24.8
一般・精密機器	△ 16.3	△ 17.3	△ 28.0	△ 14.9	↘ △ 19.2	↗ △ 19.2
電気機器	△ 29.3	△ 33.3	△ 25.0	△ 36.8	↘ △ 41.0	↗ △ 10.3
輸送機器	△ 13.1	△ 14.3	△ 5.8	1.4	↘ △ 25.0	↗ △ 11.3
卸・小売業	△ 30.3	△ 33.3	△ 32.2	△ 23.3	↗ △ 21.7	↘ △ 33.6
卸売業	△ 24.8	△ 30.4	△ 22.0	△ 15.3	↗ △ 11.1	↘ △ 28.1
小売業	△ 37.5	△ 37.6	△ 46.3	△ 34.7	↗ △ 32.7	↘ △ 40.0
建設業	△ 25.0	△ 18.3	△ 10.8	△ 13.6	↘ △ 27.5	↗ △ 21.7
建築業	△ 42.1	△ 30.6	△ 13.9	△ 21.2	↘ △ 32.6	↗ △ 23.3
土木業	0.0	0.0	△ 6.9	△ 3.8	↘ △ 19.2	↘ △ 19.2
サービス業	△ 12.5	△ 13.9	△ 10.7	△ 15.8	↗ △ 11.3	↘ △ 20.8
物品賃貸業	△ 9.5	△ 28.6	△ 8.1	△ 3.0	↘ △ 16.1	↘ △ 19.4
情報サービス業	△ 15.4	△ 10.9	△ 14.8	△ 20.0	↗ △ 9.8	↘ △ 21.6
広告業	△ 10.0	18.2	0.0	△ 33.3	↗ 0.0	↘ △ 21.4

※ 売上D. I. は、前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業割合から「減少」したとする企業割合を差し引いた値。

※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

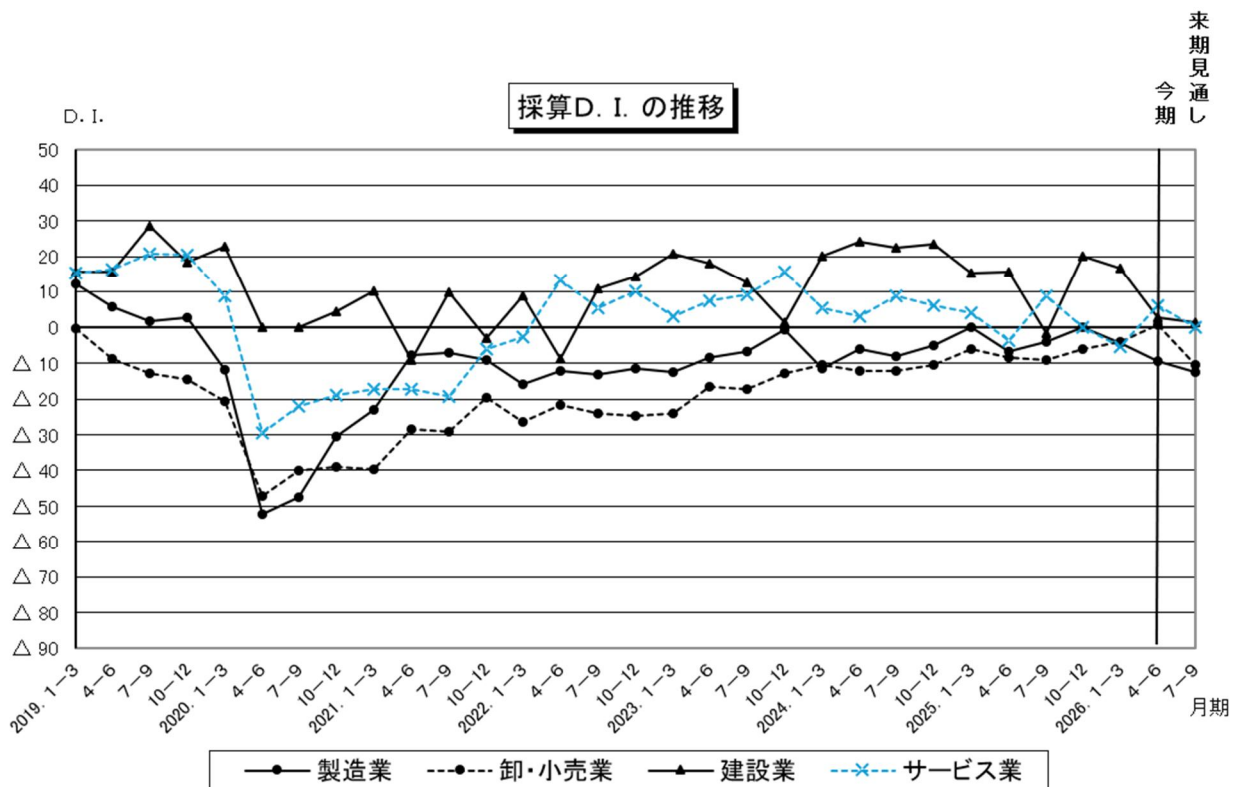


3 採算D. I.

業種	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(今期)	2026 7-9(来期)
全産業	△ 5.6	△ 3.8	△ 0.3	△ 3.2	↘ △ 4.6	↘ △ 9.8
製造業	△ 6.7	△ 3.9	0.0	△ 4.5	↘ △ 9.4	↘ △ 12.3
食料品	21.3	17.5	25.0	18.5	↘ 8.3	↘ △ 6.3
繊維工業	△ 22.4	△ 14.3	△ 32.3	△ 31.0	↗ △ 28.3	→ △ 28.3
木材・木製品	0.0	0.0	6.7	△ 9.1	↗ △ 2.9	↘ △ 17.6
家具・装備品	△ 16.7	△ 45.5	△ 33.3	△ 21.4	↘ △ 33.3	↘ △ 50.0
紙・加工品	△ 5.9	10.0	10.3	△ 15.4	↗ 10.7	↘ △ 3.6
印刷	△ 21.7	△ 26.1	△ 42.3	△ 33.3	↘ △ 42.3	↘ △ 53.8
化学・ゴム	8.5	10.6	8.9	6.4	↗ 12.5	↘ 5.0
窯業・土石	0.0	△ 8.0	2.2	△ 9.5	↘ △ 20.0	↗ △ 15.6
鉄鋼・非鉄	△ 5.7	△ 24.3	2.4	3.2	↘ △ 6.7	↘ △ 16.7
金属製品	△ 17.8	△ 12.6	△ 2.5	△ 2.5	↘ △ 11.6	↘ △ 12.5
一般・精密機器	△ 18.4	△ 13.5	△ 4.0	△ 6.4	↘ △ 11.5	↘ △ 11.5
電気機器	△ 24.4	△ 9.5	△ 5.0	△ 23.7	↗ △ 23.1	↗ △ 10.3
輸送機器	6.0	22.1	26.1	18.6	↘ 7.5	↗ 12.5
卸・小売業	△ 8.4	△ 9.2	△ 6.2	△ 4.1	↗ 0.8	↘ △ 10.4
卸売業	2.7	1.4	11.3	3.4	↗ 14.3	↘ 0.0
小売業	△ 23.2	△ 24.8	△ 30.6	△ 14.9	↘ △ 16.4	↘ △ 23.1
建設業	15.6	△ 1.7	20.0	16.9	↘ 2.9	↘ 1.4
建築業	2.6	△ 11.1	19.4	12.1	↘ △ 7.0	↗ △ 7.0
土木業	34.6	12.5	20.7	23.1	↘ 19.2	↘ 15.4
サービス業	△ 3.8	9.0	0.0	△ 5.3	↗ 6.2	↘ 0.0
物品賃貸業	△ 4.8	2.9	18.9	15.2	↘ 12.9	↘ 9.7
情報サービス業	△ 3.8	10.9	△ 17.0	△ 12.0	↗ 3.9	↘ △ 7.8
広告業	0.0	20.0	18.2	△ 33.3	↗ 0.0	↗ 7.7

※ 採算D. I. は、当期採算が「黒字」とする企業割合から「赤字」とする企業割合を差し引いた値。

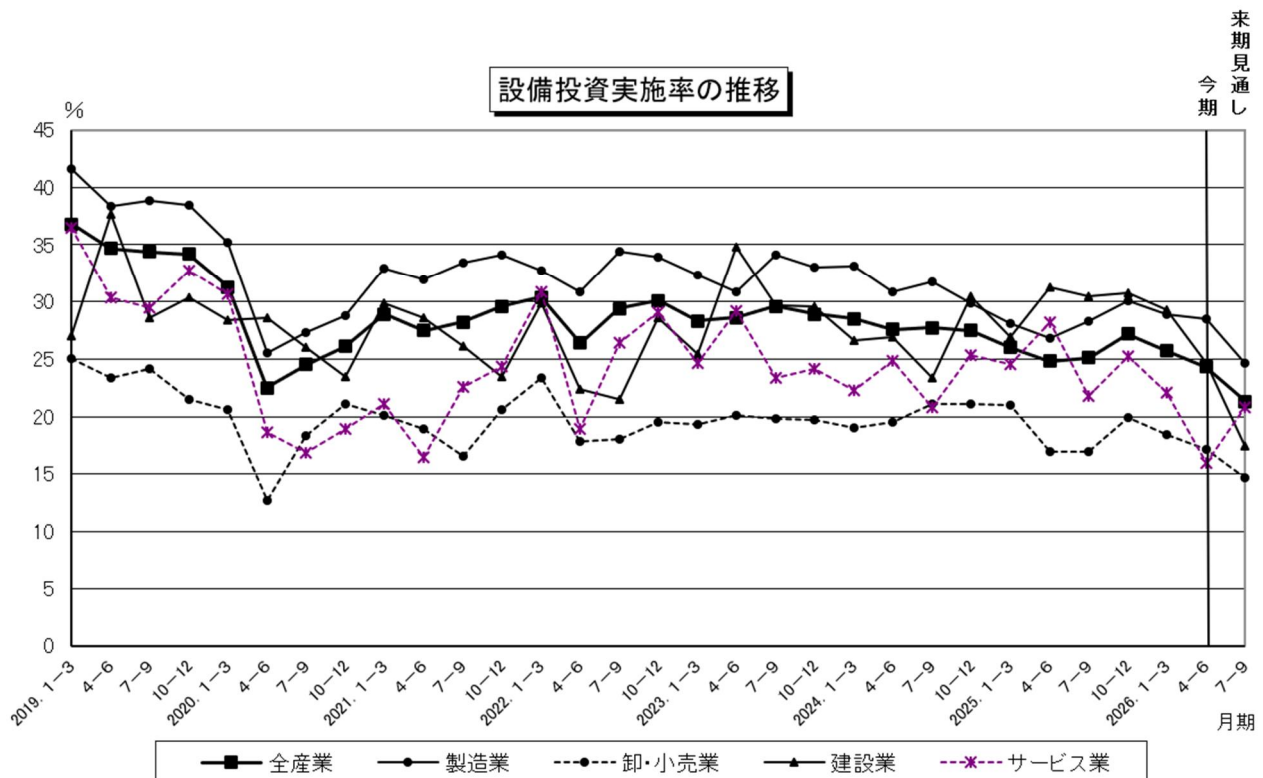
※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。



4 設備投資実施率

業種	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3	2026 4-6(今期)	2026 7-9(来期)
全産業	24.8	25.1	27.2	25.7	↘ 24.3	↘ 21.3
製造業	26.8	28.3	30.1	28.9	↘ 28.5	↘ 24.6
食料品	44.3	38.6	44.2	37.0	↘ 33.3	↗ 35.4
繊維工業	13.4	23.2	19.0	6.9	↗ 15.6	↘ 13.0
木材・木製品	11.4	15.8	23.3	9.1	↗ 23.5	↘ 2.9
家具・装備品	25.0	54.5	20.0	28.6	↘ 25.0	↘ 8.3
紙・加工品	32.4	40.0	28.6	26.9	↗ 28.6	↘ 25.0
印刷	17.4	8.7	19.2	20.0	↘ 15.4	↘ 11.5
化学・ゴム	32.2	36.2	32.1	38.3	↘ 32.5	↘ 30.0
窯業・土石	31.4	34.0	37.0	33.3	↗ 40.0	↘ 33.3
鉄鋼・非鉄	20.0	27.0	36.6	25.8	↗ 30.0	↘ 16.7
金属製品	26.9	22.7	25.4	32.5	↘ 17.7	↗ 23.0
一般・精密機器	18.4	21.2	16.0	19.1	↗ 26.9	→ 26.9
電気機器	12.8	14.3	22.5	21.1	↗ 23.1	↘ 20.5
輸送機器	39.3	42.9	52.2	50.0	↗ 52.5	↘ 42.5
卸・小売業	16.9	16.9	19.9	18.4	↘ 17.1	↘ 14.7
卸売業	16.1	17.6	22.3	15.9	↗ 17.8	↘ 14.1
小売業	17.9	15.8	16.7	22.2	↘ 16.7	↘ 15.6
建設業	31.3	30.5	30.8	29.3	↘ 24.6	↘ 17.4
建築業	13.2	22.9	25.0	21.9	↘ 14.0	↘ 9.3
土木業	57.7	41.7	37.9	38.5	↗ 42.3	↘ 30.8
サービス業	28.2	21.8	25.2	22.1	↘ 16.0	↗ 20.8
物品賃貸業	26.2	20.0	27.0	24.2	↘ 20.0	↗ 25.8
情報サービス業	32.7	23.6	27.8	20.0	↘ 18.0	↘ 17.6
広告業	11.1	18.2	8.3	25.0	↘ 0.0	↗ 21.4

※ 設備投資実施率は、当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。
 なお、来期については、設備投資計画が「ある」とする企業の割合。
 ※ 一般・精密機器は、日本標準産業分類上のはん用機器、生産用機器、業務用機器を指す。

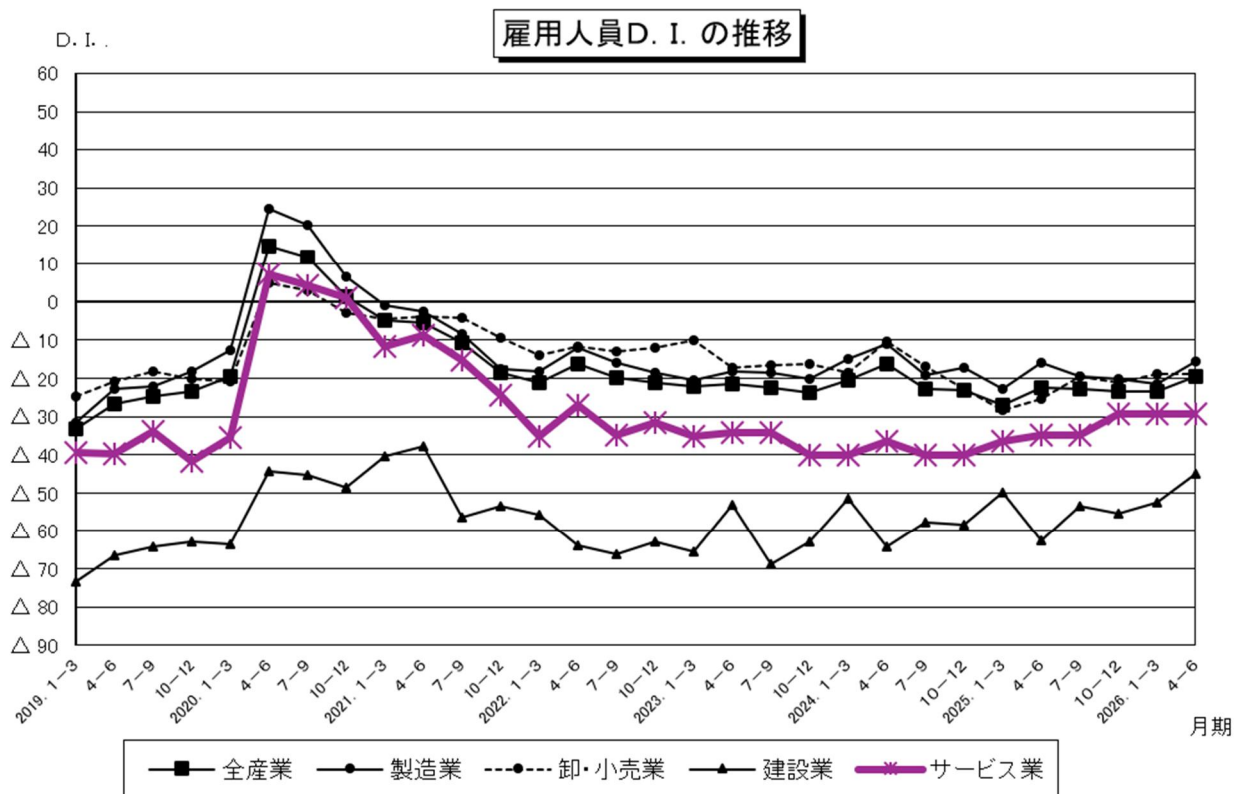


5 資金繰りD. I.

資金繰り D. I. 「好転」-「悪化」	業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月 期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)	2026年7-9月期 (来期)
	全産業	△ 19.8	△ 20.2	△ 17.1	△ 17.0	△ 20.3	△ 23.5
	製造業	△ 17.3	△ 19.2	△ 14.5	△ 16.7	△ 22.5	△ 24.4
	卸・小売業	△ 27.2	△ 25.3	△ 23.3	△ 16.5	△ 20.2	△ 24.8
	建設業	△ 15.6	△ 16.7	△ 13.8	△ 22.0	△ 20.3	△ 21.7
	サービス業	△ 20.2	△ 16.8	△ 19.4	△ 16.8	△ 6.2	△ 15.6

6 雇用人員D. I.

雇用人員 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月 期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)
	全産業	△ 22.6	△ 22.9	△ 23.6	△ 23.4	△ 19.6
	製造業	△ 15.9	△ 19.7	△ 20.3	△ 21.4	△ 15.7
	卸・小売業	△ 25.5	△ 19.4	△ 21.3	△ 18.9	△ 18.7
	建設業	△ 62.5	△ 53.3	△ 55.4	△ 52.5	△ 44.9
	サービス業	△ 35.0	△ 35.0	△ 29.4	△ 29.5	△ 29.2



7 金融機関の貸出態度D. I.

貸出態度D. I. 「緩い」-「厳しい」	業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)
	全産業	△ 1.4	△ 2.2	△ 2.0	△ 1.1	△ 1.2
	製造業	△ 1.4	△ 2.3	△ 0.2	1.5	0.2
	卸・小売業	△ 4.0	△ 5.1	△ 7.3	△ 5.5	△ 6.8
	建設業	7.8	10.0	6.3	6.8	5.9
	サービス業	△ 1.0	△ 2.1	△ 5.1	△ 12.4	△ 1.1

8 価格の動向

(1) 販売価格D. I.

販売価格D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)
	製造業	27.1	23.8	20.5	21.2	34.3
	卸・小売業	44.4	41.8	36.0	41.9	37.9
	サービス業	△ 7.8	△ 5.0	△ 9.9	2.1	0.0

(2) 仕入価格等D. I.

仕入価格等D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)
主要原材料 価格D. I.	製造業	69.8	66.0	65.8	67.8	83.9
仕入価格 D. I.	卸・小売業	75.1	81.9	76.2	75.1	76.2
主要資材 価格D. I.	建設業	81.3	75.0	84.4	83.1	92.8

9 設備稼働状況D. I.

設備稼働 状況D. I. 「上昇」-「低下」	業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)
	製造業	△ 20.4	△ 20.1	△ 20.8	△ 18.4	△ 25.8

10 顧客（受注先）数D. I.

顧客数D. I. 「増加」-「減少」	業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)
	サービス業		△ 17.6	△ 13.0	△ 8.8	△ 7.4

11 在庫水準D. I.

在庫水準 D. I. 「過剰」-「不足」	業種	2025年4-6月期	2025年7-9月期	2025年10-12月期	2026年1-3月期	2026年4-6月期 (今期)
	製造業		6.6	7.5	5.6	7.9
卸・小売業		8.8	11.6	4.3	4.5	4.7

12 経営上の問題点

<調査方法>以下の項目から、2つまで選択。

【製造業】

- ・売上の不振
- ・原材料高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・製品安・値下げの要請
- ・エネルギー費用の増加
- ・その他

【卸・小売業】

- ・売上の不振
- ・仕入価格の上昇
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・大型店・新業態の小売店進出
- ・店舗の狭小老朽化
- ・その他

【建設業】

- ・受注の不振
- ・資材高
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・その他

【サービス業】

- ・売上の不振
- ・外注コスト増
- ・金融費用の増加
- ・資金繰り難
- ・人手不足
- ・人件費の増加
- ・受注単価引き下げ要請
- ・新規参入増
- ・その他

業種	順位	2025年10-12月期(前々期)		2026年1-3月期(前期)		2026年4-6月期(今期)	
		製造業	1位	原材料高	41.5%	原材料高	44.5%
	2位	売上の不振	40.4%	売上の不振	41.7%	売上の不振	41.1%
	3位	人件費の増加	33.4%	人件費の増加	32.8%	人件費の増加	26.8%
卸・小売業	1位	仕入価格の上昇	50.6%	仕入価格の上昇	51.4%	仕入価格の上昇	58.6%
	2位	売上の不振	47.5%	売上の不振	48.1%	売上の不振	41.4%
	3位	人件費の増加	28.0%	人件費の増加	28.0%	人件費の増加	27.7%
建設業	1位	人手不足	53.8%	資材高 人手不足	50.8%	資材高	75.4%
	2位	資材高	46.2%	受注の不振	32.2%	人手不足	39.1%
	3位	受注の不振	29.2%	人件費の増加	30.5%	受注の不振	30.4%
サービス業	1位	売上の不振	39.6%	売上の不振	42.2%	売上の不振	43.6%
	2位	人件費の増加	36.6%	人件費の増加	36.7%	人件費の増加	36.2%
	3位	人手不足	27.7%	人手不足 外注コスト増	30.0%	外注コスト増	29.8%

※ 本調査は8つ又は9つの項目から2つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

13 行政が今後強化すべき支援策

〈調査方法〉 以下の項目から、3つまで選択。

- ・金融支援
- ・経営指導・相談
- ・技術開発・指導
- ・下請適正取引の推進
- ・省エネ支援
- ・雇用維持支援
- ・人材確保支援
- ・人材育成支援
- ・その他

業種	順位	2025年10-12月期(前々期)		2026年1-3月期(前期)		2026年4-6月期(今期)	
全産業	1位	金融支援	41.0%	金融支援	40.1%	金融支援	42.3%
	2位	雇用維持支援	38.7%	人材確保支援	36.2%	人材確保支援	36.4%
	3位	人材確保支援	35.3%	雇用維持支援	34.7%	雇用維持支援	34.1%
製造業	1位	雇用維持支援	38.5%	人材確保支援	37.4%	金融支援	39.4%
	2位	金融支援	34.8%	下請け適正取引の推進	35.7%	下請適正取引の推進	37.3%
	3位	下請適正取引の推進	34.4%	金融支援	34.3%	人材確保支援	36.1%
卸・小売業	1位	金融支援	58.4%	金融支援	51.7%	金融支援	47.8%
	2位	雇用維持支援	33.1%	雇用維持支援	35.8%	雇用維持支援	29.3%
	3位	人材確保支援	30.6%	人材確保支援	28.9%	人材確保支援	27.7%
建設業	1位	人材確保支援	60.9%	人材確保支援	50.9%	人材確保支援	62.7%
	2位	雇用維持支援	53.1%	金融支援	47.4%	金融支援	50.7%
	3位	金融支援	39.1%	雇用維持支援	45.6%	雇用維持支援	41.8%
サービス業	1位	雇用維持支援	44.4%	金融支援	43.3%	人材確保支援	42.4%
	2位	金融支援 人材確保支援	37.4%	人材確保支援	37.8%	金融支援	40.2%
	3位	下請適正取引の推進	25.3%	雇用維持支援	35.6%	雇用維持支援	34.8%

※ 本調査は9つの項目から3つまでを選択する設問のため、回答の合計は100%を超える。

【トピックス項目】

<中東情勢の影響について>

(1) 中東情勢の影響についてお尋ねします。

業種	中東情勢の影響について			
	すでに影響が出ている	現時点では影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある	特に影響はない	分からない/判断できない
全産業	65.1%	24.1%	4.9%	5.9%
製造業	72.6%	20.6%	2.2%	4.6%
卸・小売業	57.6%	29.6%	5.8%	7.0%
建設業	68.1%	24.6%	2.9%	4.4%
サービス業	34.7%	31.6%	21.1%	12.6%

(2) どのような影響がありますか（想定されますか）。

業種	どのような影響がありますか（想定されますか）										
	①原材料価格の上昇	②エネルギー価格の上昇	③物流コストの上昇	④仕入・調達の困難や遅延	⑤受注減少・需要減退	⑥為替市場の不安定化	⑦サプライチェーンの混乱	⑧販路の途絶	⑨資金繰りのひっ迫	⑩分からない	⑪その他
全産業	75.0%	37.3%	33.7%	53.9%	20.7%	5.3%	7.9%	3.0%	4.9%	0.4%	2.0%
製造業	78.2%	40.5%	31.1%	54.9%	23.4%	4.0%	9.2%	2.7%	4.9%	0.4%	0.7%
卸・小売業	71.7%	30.7%	47.2%	50.5%	12.3%	9.9%	6.6%	3.8%	4.2%	0.5%	3.3%
建設業	78.1%	35.9%	21.9%	65.6%	14.1%	3.1%	3.1%	3.1%	4.7%	0.0%	7.8%
サービス業	54.0%	33.3%	23.8%	44.4%	31.7%	3.2%	6.3%	3.2%	7.9%	1.6%	3.2%

※本調査は複数回答可能の為、調査結果の合計は100%を超える。

(3) 中東情勢に伴う影響への対応策として、現在行っている（今後行う予定の）対策について伺います。

業種	現在行っている（今後行う予定の）対策について								
	①販売価格への転嫁	②省エネルギー・コスト削減の徹底	③調達先の見直し・多様化	④在庫の積み増し	⑤設備投資や事業計画の延期・縮小	⑥人件費の抑制や採用計画の見直し	⑦運転資金の確保	⑧特に対応を検討していない	⑨その他
全産業	54.4%	23.4%	23.8%	16.8%	9.8%	7.8%	11.4%	13.8%	1.6%
製造業	57.7%	24.9%	26.5%	16.6%	10.3%	6.8%	10.5%	12.4%	0.7%
卸・小売業	54.6%	20.3%	19.3%	20.3%	8.7%	9.2%	8.7%	13.5%	0.5%
建設業	39.1%	12.5%	25.0%	9.4%	6.3%	9.4%	15.6%	23.4%	12.5%
サービス業	41.3%	31.7%	14.3%	14.3%	12.7%	9.5%	23.8%	17.5%	1.6%

※本調査は複数回答可能の為、調査結果の合計は100%を超える。

【トピックス項目】

<価格転嫁の状況>

(1) 価格転嫁の状況についてお尋ねします。

業種	価格転嫁の状況					
	全くできていない (2割未満)	2割以上5割未満	5割以上8割未満	8割以上	分からない	価格転嫁の 必要がない
全産業	24.6% (16.9%)	23.8% (23.5%)	20.9% (24.8%)	17.0% (22.5%)	9.9% (9.7%)	3.8% (5.6%)
製造業	24.3% (17.0%)	25.2% (21.6%)	23.5% (29.5%)	18.0% (21.4%)	6.8% (6.2%)	2.2% (4.3%)
卸・小売業	23.5% (11.5%)	23.1% (17.3%)	20.2% (21.0%)	16.8% (29.2%)	11.8% (14.8%)	4.6% (6.2%)
建設業	23.1% (20.3%)	18.5% (16.9%)	18.5% (13.6%)	20.0% (30.5%)	18.4% (18.7%)	1.5% (0.0%)
サービス業	29.8% (27.7%)	20.2% (24.5%)	8.5% (11.7%)	9.6% (7.4%)	18.1% (12.8%)	13.8% (15.9%)

※カッコ内は前回調査実施時点

(2) 価格転嫁が進まない理由として最もあてはまるものは何ですか。

業種	価格転嫁が進まない理由					
	取引への悪影響を恐 れて価格交渉の申し出 ができなかった	取引先へ価格交渉を 申し出たが、交渉自体 に応じてもらえなかった	取引先と価格交渉を 行ったが、満足のいく 結果にならなかった	取引先との交渉 方法がわからない	消費者から 理解が得られ難い	その他
全産業	30.3% (30.2%)	7.4% (5.7%)	31.6% (42.5%)	2.8% (3.0%)	15.6% (15.3%)	12.3% (3.3%)
製造業	31.7% (29.7%)	7.7% (6.5%)	36.6% (47.0%)	3.2% (4.3%)	6.0% (7.8%)	14.8% (4.7%)
卸・小売業	24.8% (18.6%)	5.7% (7.1%)	20.0% (34.3%)	1.0% (0.0%)	39.0% (40.0%)	9.5% (0.0%)
建設業	34.6% (36.8%)	3.8% (0.0%)	34.6% (42.1%)	3.8% (5.3%)	11.5% (15.8%)	11.7% (0.0%)
サービス業	31.9% (47.8%)	10.6% (2.2%)	25.5% (32.6%)	4.3% (0.0%)	23.4% (15.2%)	4.3% (2.2%)

※カッコ内は前回調査実施時点

〔調査の概要〕

- 1 調査時期 2026年6月1日から6月10日まで
- 2 調査対象期間 実績 ----- 2026年4～6月期
見通し ----- 2026年7～9月期
- 3 調査内容
 - 業況判断、売上、資金繰り、販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況、顧客数及び在庫水準については、前年同期との比較。
 - 採算、設備投資、雇用人員及び金融機関の貸出態度については、当期の実績。

4 指数化の方法

D. I. : 業況判断指数 (ディフュージョン・インデックス)

- 業況判断D. I. ----- 前年同期と比べて総合的な景況判断が「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 売上D. I. ----- 前年同期と比べて売上が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 採算D. I. ----- 当期採算が「黒字」とする企業の割合から、「赤字」とする企業の割合を差し引いた値。
- 設備投資実施率 ----- 当期において設備投資を「行った」とする企業の割合。
- 資金繰りD. I. ----- 前年同期と比べて資金繰りが「好転」したとする企業の割合から、「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 雇用人員D. I. ----- 当期において雇用人員が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。
- 金融機関の貸出態度D. I. --- 当期において金融機関の貸出態度が「緩い」とする企業の割合から、「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値。

販売価格D. I.
主要原材料価格D. I.
仕入価格D. I.
主要資材価格D. I.
設備の稼動状況D. I. ----- 前年同期と比べて販売価格、主要原材料価格、仕入価格、主要資材価格、設備の稼動状況が「上昇」したとする企業の割合から、「低下」したとする企業の割合を差し引いた値。

- 顧客数D. I. ----- 前年同期と比べて顧客数が「増加」したとする企業の割合から、「減少」したとする企業の割合を差し引いた値。
- 在庫水準D. I. ----- 前年同期と比べて在庫水準が「過剰」であるとする企業の割合から、「不足」であるとする企業の割合を差し引いた値。

(注) ・各指数の表示の合計は、端数により100%とならない場合がある。

・業種によっては、サンプル数が少ないことから、結果に偏りが生じる可能性があることに留意する必要あり。

5 対象企業

以下の基準に該当する愛知県に本社を置く企業から無作為抽出。

- 製造業・建設業 -- 資本金3億円以下又は従業員300人以下
卸売業 ----- 資本金1億円以下又は従業員100人以下
小売業 ----- 資本金5千万円以下又は従業員50人以下
サービス業 ----- 資本金5千万円以下又は従業員100人以下

6 調査回答状況

区分	全産業	製造業	卸・小売業	建設業	サービス業
標本企业数	2,000社	1,230社	470社	100社	200社
回答企業数	1,031社	611社	253社	69社	98社
回答率	51.6%	49.7%	53.8%	69.0%	49.0%
(前回)	50.3%	49.2%	52.3%	59.0%	47.5%

本資料は、産業政策課のWebページ(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keikyo.html>)で御覧いただけます。